

あけまして おめでとう ございます

令和8年度 第62回全日本花いっぱい大会は、京都府の亀岡市において、第43回全国都市緑化フェアin京都丹波(令和8年9月18日~11月8日)の期間中である10月下旬に開催を予定しています。



植栽活動①



植栽活動②



蘭越町役場玄関前花壇



蘭越町役場立体花壇

蘭越町は、北海道後志地方の南西部に位置し、周囲をニセコ連峰の山岳に囲まれ、中央を道南最大の河川「尻別川」が東西約30kmにわたり貫流し、日本海に注いでいます。

また、その流域に広がる平坦地は、肥沃で水田の耕作に適しており、ここで生産される「らんこし米」は、良質美味で、道内外で好評を得ております。

花いっぱい運動は、昭和37年、ヨーロッパを視察した当時の町長が、公共施設や家庭に咲き誇る花壇の鮮やかな風景に感動し、花の町づくり

を目指そうと新生活運動の一環として始まりました。

当初は、行政主体の運動でありましたが、徐々に町民に浸透し、昭和55年に、花いっぱい運動を推進し、環境美化の振興及び会員の融和と親睦を図ることを目的として「蘭越町花いっぱい会」を設立し、花いっぴいの会が中心となって花いっぴい運動の活動を行っております。

現在の主な活動は、公共花壇への花の植込みであり、マリーゴールドやサルビア、アゲラタムなど、色とりどりの花を植え、訪れる来客者への目を楽しませて

蘭越町では、毎年、花いっぴい運動の推進や振興に功労があつた方たちを花いっぴい運動功労者として顕彰し、環境美化の定着化を図り、潤いとやすらぎのある生活空間の向上に努めております。

花いっぴい運動を率先しております花いっぴいの会会員も年々減少しておりますが、諸先輩が実践してこられた「花いっぴい運動」を今後も引き続き推進してまいります。

蘭越町花一会図書館花壇

北海道蘭越町 花いっぴい運動の活動について

蘭越町住民福祉課生活安全係

長野県須坂市 花と緑のまちづくり

須坂市まちづくり推進部 まちづくり課

須坂市は、善光寺平の東部に位置し、東に上信越高原国立公園を望み、西を流れる千曲川は北アルプス連峰の山並みと北信五岳に映え、四方を美しい山容水態に抱かれた、四季折々にさわやかな地であります。また、かつて世界に名を馳せた「生糸のまちすざか」の面影を伝える土蔵造りの町並みが連なり、かけがえのない歴史と文化に育まれた情緒漂う人口約4万9千人の地方都市です。

当市では、平成7年から花と緑のまちづくり事業に取り組み、花づくりを通して「感性ある人づくり」を進めるとともに、心に潤いを与えて「温もりのあるふるさと」づくりに努めています。その中からいくつかの事業をご紹介します。平成7年から実施している「花苗等援助事業」では、地域で花壇等の整備に取り組み団体等に、花苗を援助しています。現在、市内では100箇所を超えている花壇等が地域の皆さんの手で整備されており、その管理を通じて子どもから高齢者まで世代を超えた交流が行われ、地域づくりへと発展しています。こうした活動は対外的にも



信州須坂オープンガーデン

高く評価され「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰をこれまでに通算25団体が受賞されています。また、平成17年から取り組んでいるオープンガーデン事業は、個々の庭先から須坂市の美しいまち並みをつくり出し、コミュニティや地域の活性化につながるともに、新たな観光スポットとして花づくりの輪を広げています。

さらに、市内の緑地を拠点として花壇の植栽や手入れなどをおこなっている活動市民団体は、市が開催したガーデンづくり講習会の参加者を中心に植栽ボランティアグループを

結成し、市内のグリーンスペースを美しくしようと、夢と希望のある花壇づくりを目指して活動しています。須坂駅前ロータリーを始め、現在3箇所の公共花壇の植栽・維持管理を互いに連携しながら実施しています。



花苗援助地域花壇



これからも、市民の皆さまが主役となり、花と緑のまちづくり事業をとおして、「豊かさ」と「しあわせ」を感じられる共創のまちづくりを目指し、推進してまいります。



講習会の様子



植栽活動

姫路花銀行は、昭和47年に成立し、令和4年に50周年という節目の年を迎えたボランティア団体です。花とみどりを愛する者があじ集い、町を花とみどりでいっぱいにする運動に自主的に参加することを目的としています。

現在（令和7年度）会員数は45名で、会員のほとんどが女性です。姫路市から委託された市章花壇の植栽や管理、姫路城が望める大手前通り



市章花壇

兵庫県姫路市

花と笑顔を育てる仲間

姫路花銀行 会長 山下 紀年



市民花壇の植栽、手柄山平和公園や姫路市役所南の三宅公園での植栽など、市民や観光客の目に留まる花壇を植栽しています。植栽活動のほかに、姫路市の緑化イベントでのボランティアや、年2回行う花とみどりに関する研修会、1月の新年会を通して会員同士の親睦を深め、和気あいあいと活動しています。

最近の活動として、12月2日に市章花壇の植え替えを行いました。市章花壇は姫路城のすぐ北に位置し、姫路市立美術館とも隣接しています。植え替えは、6月・12月・3月の年3回。毎年12月は、お正月になじみ深いハボタンを植えています。日常管理では自動灌水装置を利用していますが、除草や花がら摘みは会員が当番制で行っています。

姫路城も近く、花壇の目の前にはバス停もあるため、多くの通行があります。市民または姫路を訪れてくれた方々が、寒い冬を少しでも明るい気分でご過ごせるよう、また、新年を晴れやかな気分でご過ごせるよう、私たちはきれいな花壇づくりに一生懸命作業に励みたいと思います。



三宅公園植栽風景



大手前通り市民花壇植栽風景



緑化イベントのボランティア



2025年12月2日 ハボタン植栽後集合写真

島根県

神の国を花の町にしたい

島根県花いっぱい運動事務局 菊地 幸介



島根県の中でも出雲地方は神の國を自認しています。全国から訪れる人たちも多く、旧暦の十月は「神在月」で賑わいます。そんな町を、花いっぱい神迎えをしたいと思っています。けっして華やかではないですが、各家庭の前や商店の前には植栽が目につきます。花と緑が町にあふれていると心安らぐものです。町の中心にある駅前通りには、けやきの並木があり、花壇は地域の人たちが守っています。出雲神話をモチーフにした町づくりでもあります。

出雲市には県立の「しまね花の郷」があり、四季折々のしまねの花の魅力を伝えていきます。島根県の主要な花は、ボタン、アジサイ、トルコギキョウ、バラ、キク、シクラメンの6種。特にアジサイは各家庭でも多く栽培されています。花いっぱい運動は地味ですが、新聞やラジオの広報を使って町を花いっぱいにしたいと願っています。超高齢化が進む島根県ですが、健康のためにも「花いっぱい運動」に参加いただき、保育園や小学校、中学校などとも連携

しながら息の長い活動を進めたいと思っています。また、地元の商店や企業にも積極的に参加していただけるよう広報にも力を入れたいと思っています。

出雲の町からゴミが消えました。ポイ捨ても激減しています。次は町を花と緑でいっぱいにしたいものです。



雪の舞う「しまね花の郷」のチューリップ畑



飲食店の玄関前の花壇



出雲市駅通りの花壇



旅館入り口の植栽



一般住宅前の花たち

第59号

発行日

令和8年10月

全日本花いっぱい連盟事務局
長野県松本市中央1-18-11

Mウイング2F

TEL 0263-3213042
FAX 0263-3216511